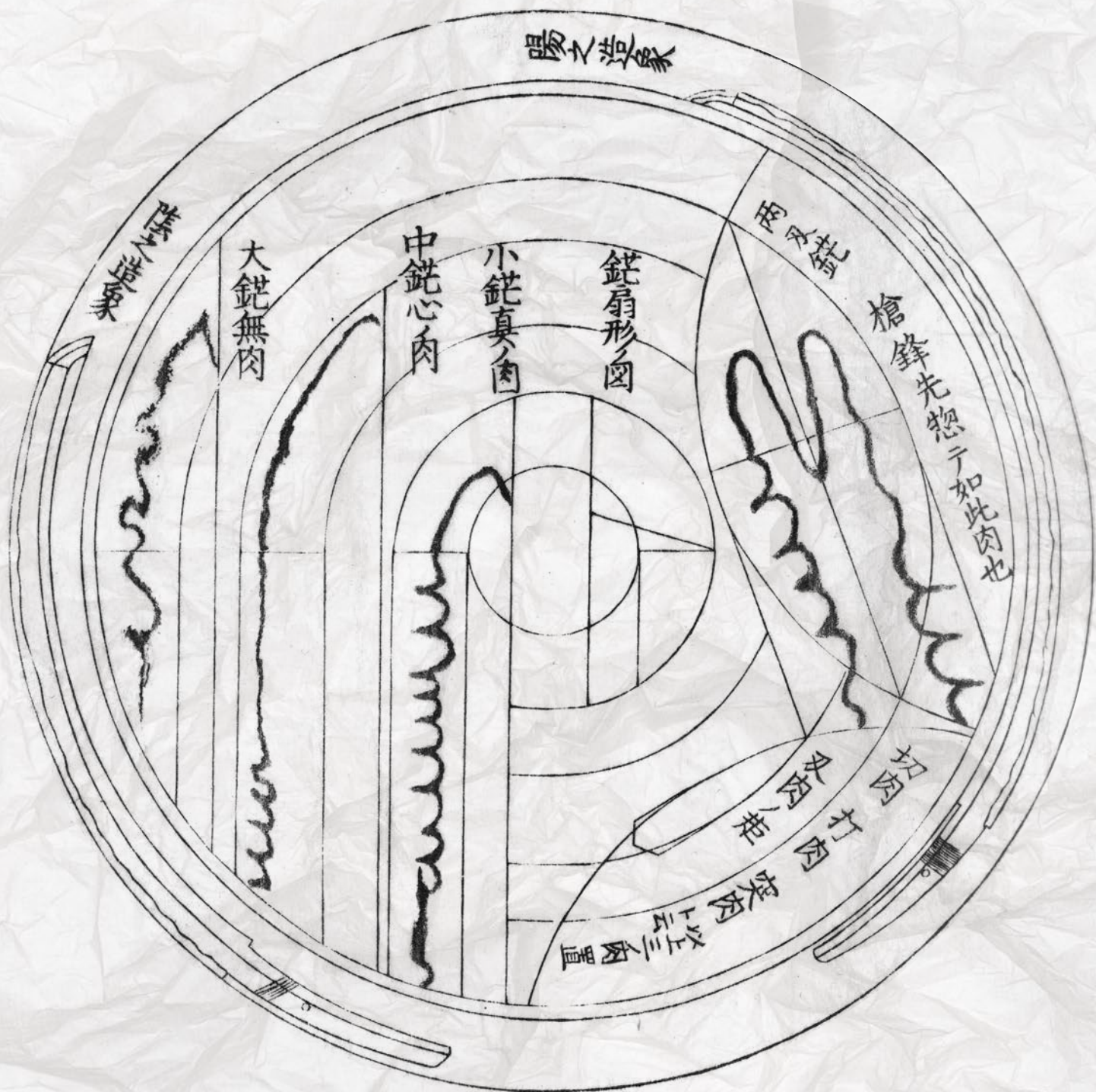


日本刀 多彩なる造形展



令和4年2月26日(土) — 5月22日(日)

開館時間 / 9:30~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 / 月曜日※月曜が祝日の場合開館、翌日休館

入館料 / 大人 1000円 会員・団体 700円 高校・大学・専門学校生 500円
中学生以下無料 (大人20名以上の団体は会員価格)

Date / February 26 (SAT) - May 22 (SUN), 2022

Hours / 9:30 - 17:00 (Last admission at 16:30)

Closed / Mondays (The museum opens on Mondays that fall on national holidays, in which case the museum is closed on following day)

Admission Fee / Adults 1000yen, Members・Group 700yen, Students 500yen, Children under 15 Free



刀剣博物館
The Japanese Sword Museum

<https://www.touken.or.jp/museum/>



—ごあいさつ—

日本刀の姿形は、時代によって発生した戦闘方法の違いなどにより、一千年の刀剣史上で様々な変化を遂げてきました。それらは時代によって長短の差が著しく、また幅の広狭や反りのつき方など、その姿形は制作された時代の特色を多く語ってくれています。一方で、時代の潮流にそぐわない奇抜な造形が存在し、それなどは注文主の意向が強く反映されたものとして見逃せません。また、刀装を構成する金具類の一つである鐔は、機能性に自由な造形が許された金具であり多様な形状が注目されます。本展覧会では、日本刀様式誕生以前の出土刀から時代による姿の違いを追うと共に、珍奇な造形の刀剣類や多様な鐔の形状など、日本刀を中心とした多彩なる造形に焦点を当て、新たな魅力を探ろうとするものです。



薙刀 銘
播州手柄山氏繁
寛政六年二月日
応桜木清祇需作之
個人蔵



脇指 無銘 正宗(庖丁正宗) 靖國神社蔵



鉾 銘
因州鳥取住兼先十二代孫日置兼次作
明治廿二年二月吉日
靖國神社蔵



鎖鎌 銘
美作国久世住藤原兼光
(附拵) 個人蔵



富士図鐔 銘
予州松山住人 正阿弥盛国作(花押)
元文三戊午歲 臘月吉持日
個人蔵

ワークショップ

「日本刀の作り方を学んで、日本刀を持ってみよう」
「守り伝えていく日本刀―手入れ作法を学ぼう」
5月14日(土) 3月26日(土)

要事前申し込み 詳細はHPで公開予定。



アクセス《電車・バスをご利用の場合》

- JR総武線「両国駅」西口から徒歩5分
- 都営地下鉄大江戸線「両国駅」A1出口から徒歩5分
- 都営バス・墨田区内循環バス「旧安田庭園・同愛記念病院」から徒歩1分

Access 《Public Transportation》

- [JR Sobu Line] 5 minutes walk from West Exit of Ryogoku Station
- [Toei Subway Oedo Line] 5 minutes walk from A1 Exit of Ryogoku Station
- [Toei Bus or Sumida City Circulation Bus (Southern Route)] 1 minute walk from Kyu Yasudateien-Doaikinenbyoin Bus Stop

刀剣博物館
The Japanese Sword Museum

〒130-0015 東京都墨田区横綱1-12-9
1-12-9 Yokoami, Sumida-ku, Tokyo, 130-0015
TEL 03-6284-1000 FAX 03-6284-1100

<https://www.touken.or.jp/museum/>